

# 技術情報カード



技術情報カード No.6  
平成11年10月

徳島県林業総合技術センター

〒770-0045  
徳島市南庄町5丁目69  
TEL 088-632-4237  
FAX 088-632-6447

No.6

平成11年10月

## 防護柵設置で気になるポイント

農林業を野生動物被害から守るために、防護柵を設置する方法は古来より用いられてきました。現在でもちゃんと設置すれば最も効果が安定している方法として普及しています。しかし、ちゃんと設置できている防護柵は結構少ないものです。注意するポイントはいろいろあるでしょうが、気になるポイントをあげてみました。

### 防風ネットとステンレスネット。 特色は？

よく使われているタイプに防風ネットと10~15cm目でステンレス編み込み線を使ったタイプがあります。2つのタイプを比較すると次のようです。

#### (1) コスト

ネット素材として防風ネットは一番安価で、ステンレスネットの半分以下です。

#### (2) 設置の安易さ

運搬のしやすさ、設置行程等はやりかたが異なるので単純に比較できませんが、それほど大差はないと思います。

#### (3) 耐久性

防風ネットは4mm目、ステンレス線は10~15cmと

風から受ける抵抗は防風ネットのほうが甚大です。柵の耐久性には風がもっとも影響するので耐久性はステンレス線が上でしょう。

#### (4) 対獣害性

10~15cm目ネットの場合、シカがからまり、ネットを破壊した例がかなり見られます。防風ネットにはこの心配はまずありません。また、大きなネット目はウサギ害には無防備です。

これらの要素を5段階で評価したものが図1、2になります。

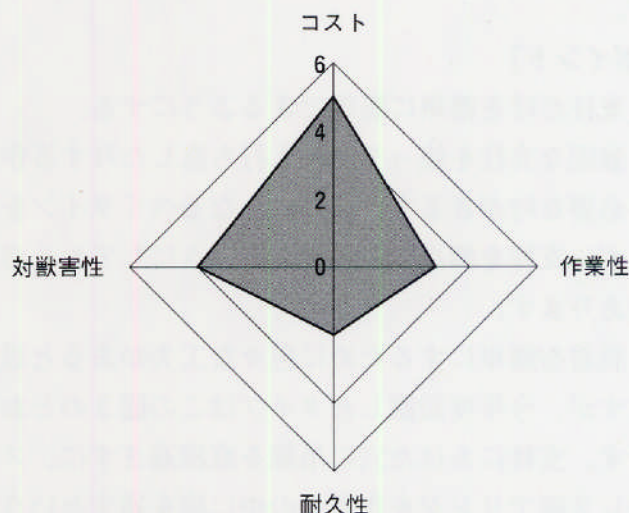


図1 防風ネットの5段階評価



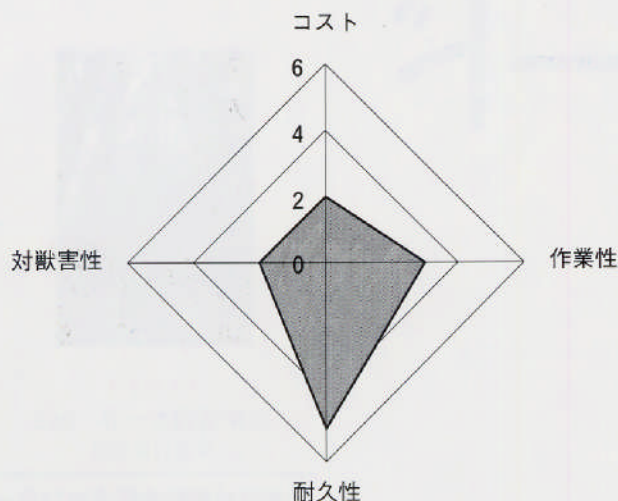


図2 ステンレスネットの5段階評価

## どの位の高さに設置すれば？

柵の高さをどのくらいで設計するかということは、柵の防護能力を決定づける重要な要素です。一般には180cm～200cmの高さが必要であるとされています。

しかし、造林地のような急傾斜地でこの高さを確保することは大変です。高ければいいのはわかりますが、どのくらいの高さ（低さ？）までが有効なのでしょう？試験用設置柵の現在までの調査によると140cm以下だと柵外被害率100%に対し、柵内被害率は30～60%という結果が出ています。140cmまで下がってしまうと、軽減効果はあるものの、かけたコストほどの効果は期待できないと思われます。

## いかにメンテナンスを簡単にするか？

設置後のメンテナンスは、柵の効果を持続させる重要ポイントです。

特にネットタイプのものは、いかに簡単にメンテナンスができるかをポイントとしたほうが現実的です。

### [ポイント]

- ・支柱だけを簡単に脱着できるようにする。

強固な支柱を使っても打ち直したりする作業が必要な時がきます。その時、なるべくラインを崩さずに支柱を簡単に脱着できるようにしておく必要があります。

脱着を簡単にするために色々な工夫があると思いますが、今年度設置したタイプはこの図3のとおりです。支柱にあけた穴に吊線を直接通さずに、ステンレス線でリングを作りその中に線を通すという方式です。目的はもちろんリングを切るだけで、支柱

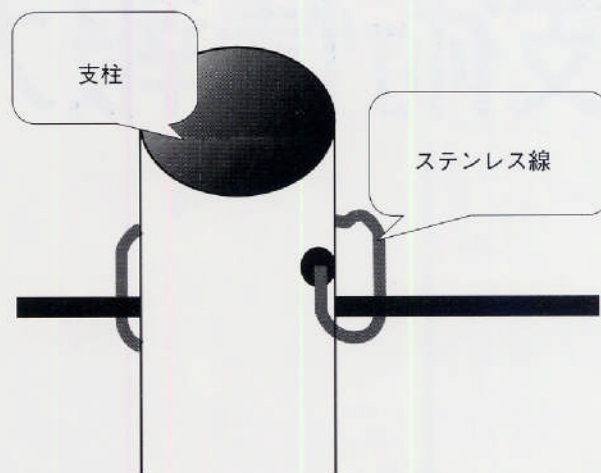


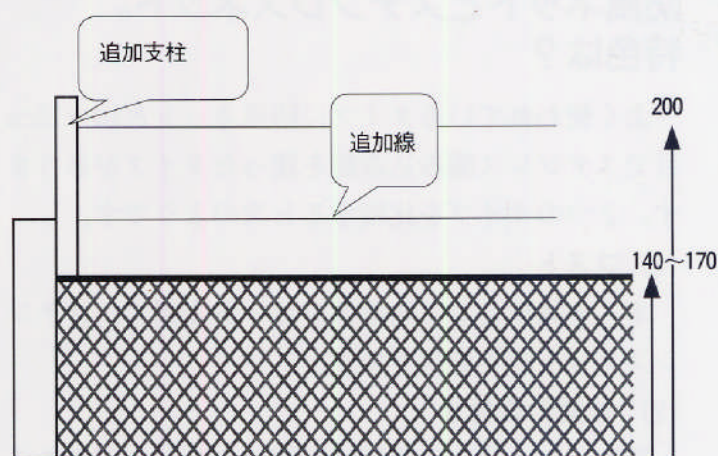
図3 リングを切るだけで支柱を脱着できるタイプ

を脱着できるようにするためです。とにかく、すべてのパーツがラインを崩すことなく容易に脱着できることを重要視しています。

## 高さが足りないなら、付け加える

高さが不足するなら、後で追加するという考え方があります。柵のネット部分の高さはシカの目線以上ということで、140cmも確保できていればよしとし、それより上の部分は飛びこしによる侵入防止として、ネットではなく線をはることによって防護するという方法です。これなら風の影響が小さく、柵高を場所や崩れ具合に応じてかなり柔軟に対応ができます。

いずれにしても、ネットを用いた簡易柵に関しては、メンテナンスフリーで効果を持続させることは困難で、半年に1回くらいの頻度ではメンテナンスが必要になります。



### ◆内容に関するお問い合わせ先

徳島県林業総合技術センター 保護科 森一生  
TEL 088-632-4237 FAX 088-632-6447